

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 1 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503171		
法人名	陽気株式会社		
事業所名	グループホームようき法成寺		
所在地	広島県福山市駅家町法成寺2808-1 (電話) 084-949-3230		
自己評価作成日	平成24年12月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503171-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年1月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

管理者と職員との会話、職員同士の会話を大切にし、個々人の悩み、その時の問題を職員間で把握し、先延ばしにせずすぐに解決し、対応できるよう努めている。職員間の情報共有に力を注いでおり職員全員が同じ方向に向けて意欲を持って仕事をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

この事業所は、福塩線・万能倉駅近くの田園地帯に位置し、ロビー正面には大きな溜池があり、訪問当日（1月中旬）は、渡り鳥がゆったりと羽を休める姿も眺望され、春には土手の桜が満開となり花見で賑わうとのこと。当法人は、グループホームのほか小規模多機能・訪問介護・居宅介護事業等を多角的に展開中で、今春3月1日に介護サービスの質の均一化を図るISO認証取得へキックオフ。そのスタートに向け、目下、各種業務等の見直しを図っている。その他、若い職員の就労環境の整備の一環として事業所内保育園の設置、働く人を大切にする福利厚生の実施など、時代の趨勢を捉えた先進的な取組みが特徴である。

陽気の[y]と笑顔の[E]をロゴマークに、=もっともっと「良かった」=を積み重ねていくサービス、全職員が同じ価値観で働く。陽気で快活な管理者のリーダーシップの手腕も光り、この取り組みが、ロビーの陽だまりで寛ぐ、利用者の笑顔に映しだされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の理念を作成している	「情報の共有を確実に行う」「考えるより先に行動」の事業所独自の理念を創案し、全職員で理想の介護像の探究を目指している。その具体化に向けて、職員の個人面談を実施し、個人目標の設定と振り返りを行うなど全職員の意識改革につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶はもちろん、地域の草取りや防災訓練に参加したりと交流を深めている。地域の方が野菜を持って来てくださったり花壇の手入れをして下さったりとなじみの関係も増えてきている	地域住民との日常的な挨拶、交流はスムーズに展開され、町内会会員として総会にも参加している。秋祭りには、地元の「はね踊り」の来訪もありホームが、その一時休憩所ともなっている。公民館のイベントにも積極的に参加し地域交流の強化を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接高齢者の暮らしに役立っているとは言えない	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では参加ご家族の意見をお聞きし、その内容は全職員に伝え、サービスの改善・向上に取り組んでいる	運営推進会議は、法令に従って定期的開催され、家族の参加率も高く自由で活発な討議が交わされている。討議内容は、全職員に周知徹底し介護現場の改善に活かしている。今後は、地域関係者の参加率の向上を図る取り組みを重要課題としている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加しサービス向上に努めている	認知症サポーター養成講座の推進のほか、市の開催する介護保険事業所説明会に積極的に参加など、市町との連携活動が着実に展開されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会は定期的に行っており職員全員が理解している。今冬よりご利用者の様子の変化、ご家族の要望により急遽階段上の扉を閉めさせていただいている</p>	<p>法人全体で年4回の研修会が開催されその中に身体拘束の研修も含まれ、その研修内容を月2回行うカンファレンス後のミーティングで全職員に伝えられ意識の高揚を図っている。「言葉による拘束」にも留意し、全職員でその実践に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>カンファレンスで事例について検討し勉強会を行っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後必要あれば活用していきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には細かく説明を行い、疑問等あればその都度お聞きしその場で納得できるよう努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置、また面会時何か要望やご意見がないかお聞きしている。運営推進会議・家族会で頂いたご意見は全職員に伝え、次に活かしている</p>	<p>「接遇」の勉強会を行い、家族面会時には気持ち良くお迎えしすることにより、意見・要望を言い易い雰囲気作りに努めている。運営推進会議にも多くのご家族が参加し、忌憚のない意見・要望が寄せられ、それらは運営に活かされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個人面談やカンファレンス時、また日々の関わりの中で意見を聞く機会を設けている</p>	<p>月に2回行うカンファレンス時に職員が意見・要望が言える機会が定期的にある。特に「管理者と職員・職員同士の会話を大切にする」が運営上の重点項目と捉えられており、日常的に意見や要望の言い易い下地、環境作りが心掛けられている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や胸のうちを語りやすいよう日々の会話を大切にしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>月に二回の全体ミーティング等で事業所内でのことは把握している。外部研修に参加できるように、常に向上していけるよう努めたり全職員が目標をたてそれに向かって学び向上していけるようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の研修に参加したり知り合った同業者とのつながりを大切にし、サービスの質を向上していけるよう努めている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用時、またそれ以外でもご本人、また難しい際にはご家族より話をお聞きし安心してすごしていただけるよう努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者・ご家族に心から信頼して頂ける様、気軽になんでも言える雰囲気作りを心がけている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者を人生の先輩として尊敬し、一緒に生活する中で喜怒哀楽を共に感じあえる関係作りを築けるよう努めている</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話にて近況を報告し、ご利用者の少しの変化もお伝えするようにしている。ご本人との絆を大切にしながら共に支えていく関係を築いている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>個々のなじみの人、なじみの場所は把握しており、面会時に談笑しやすい環境作りや外出時になじみの場所へお連れしたりと今までの関係がとぎれないよう支援している</p>	<p>日々の関わりの中から利用者の馴染みの人、思い出の場所を把握し「その希望・願いをかなえてあげよう」を合言葉にその実現を図っている。その実施計画も具体的に月間スケジュール表に落とし込み、その実施を確実に進めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係を把握し、気の合うご利用者同士が時間を共有できるような環境作りに努めている。うまく関わるのが難しい方には職員が側に寄り添い、支えあえるような関係作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に会いに来られたりといい関係が築けている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりお話が好きな人、静かな所が好きな人、居室で静かにDVDを観られるのが好きな人などその人にあった接し方に努めている。	入居契約時の基本情報はもとより、日々の「ゆっくりとした」ふれあいの中から意向把握に努めている。各行事ごとにアンケートの実施など、利用者満足の視点と生活歴に応じた個別対応に留意されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人一人の生活歴や暮らし方生活環境が違うので、職員一人一人がよく把握し接している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が一日の過ごし方、心身状態など把握しよく観察し接している。個人ファイルや介護記録など小まめに記録している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の様子やケアの実践、結果などわかりやすく記入し実践や介護計画の見直しに活かせるよう改善している。</p>	<p>利用者ごとに担当職員を決め、その基本情報を基に、全職員で討議検討し定期的に介護計画の見直しを行っている。個々の利用者情報シートには生活歴も含め、職員の観察眼、気づきなど詳細に記述し日々のケアの反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録、入居者日誌に記録し職員間で情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>日々、柔軟に対応できるようにしている。一緒に買い物に行ったり、ドライブに行ったり、天気が良ければ近所を散歩したり等状況に合わせた対応を出来る限りしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の掃除やお祭りなどに積極的に参加し、本人が地域で安全に活気のある生活を送れるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医以外にも本人及び家族等が希望されるかかりつけ医がいる際も、職員が同行し、早期に適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>主治医による往診が4/月回あり、本人・家族が主治医以外の医療機関の受診を希望すれば職員が同行し適切に対応している。協力医療機関も近くにあり、夜中でも往診可能な医療体制が確立している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常生活で気づいた情報は看護職員に報告・相談し、利用者が適切な処置を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は、職員が週に2回位病院に行き早期に退院できるように病院関係と情報交換している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>早い段階から本人・家族、又は主治医等を含め、話し合いを行っている。事業所はできるかぎり本人・ご家族の思いに添った支援に取り組んでいる。</p>	<p>「みとりに関する指針」を設け、本人・家族の思い、主治医との連携の下に、近隣住民の協力も得て、最適の重度化・終末期の支援をめざしている。看取りのケースは、これまで10件程度あり、近隣住民による家族を超えた興味あふれる支援事例も伺えた。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>年に一回は応急処置の訓練を行っている。また職員同士での情報交換などを日々行い、利用者の急変に早期に対応できるようにしている。急変があった際はすぐに、管理者へ連絡をとれるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>災害時を想定した訓練を、定期的に全職員で行っている。災害時に地域からの協力を得られるよう、日々のコミュニケーションを大切にしている。</p>	<p>年2回、消防訓練が実施されており、うち一回は消防署立会いで指導を受けている。地域の消防訓練にも参加しており、災害時は、近隣の方の協力も要請している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いや守秘義務を徹底するよう、ご利用者の尊厳を損なわないケアをするようその都度注意している。	日常活動の中で不適切な言動があれば、注意し、正すようにしている。職員会議では、利用者への「声かけは適切か…？」を日頃の事例をあげて、みなで振り返り、尊厳とプライバシー保護の確認と徹底を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	飲み物、食事（飲みたい物、食べたい物）等、選択していただき希望が言えるよう動きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの思いやペースを大切に、ご本人が希望する生活を、日々過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々に化粧品など持って来られ手入れをされている。朝、自分で整容はしていただくよう声掛けを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事のリクエストを聞き作っている。月に一度、握り寿司の日をもうけている。準備、片付け等も役割を決めご利用者様と一緒にやっている。食事中は音楽を流して支援している。	献立は利用者の希望に応じ、調理のできる人は、職員と一緒に調理の輪に加わっている。月に一度「握り寿司の日」を設け、経験のある男子職員による板前ぶりが好評を博している。時には、回転ずしや福山駅前デパートの食堂での外食の機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりにあった量、栄養バランス体重があまり増えないよう気を付け、水分補給一日に1000cc以上摂る様、色々な飲み物で工夫し対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人ひとりの口腔状態を把握し、ご本人に適した口腔ケアを行って、日々清潔保持ができるよう支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	声掛け、見守りをしっかり行い定期的に誘導を行っている。	おむつやパットから「布パンツに戻す」を目標に排泄の自立支援が行われている。トイレ誘導の声かけ、見守りも職員の都合でなく、利用者のリズムに沿った介助の徹底が図られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を毎朝提供、又は体操などを行い、便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を気分良く行っていただく為、ご本人の希望の時間やタイミングをお聞きし、個々に応じた入浴の支援をしている。	主に午後の時間帯を入浴時間に定め、週2～3回の入浴を行っている。入浴拒否の利用者には、不安解消の環境づくりと職員との信頼関係を基に入浴支援を実施している。寛ぎの入浴支援として、CDラジカセによるBGMの取組も見られる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの生活習慣や体調の変化に応じて、希望をお聞きしたり、声掛けを行うなどし、安眠や休息できるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	処方された薬の説明書をファイルし薬の有無を確認している。服薬時はスタッフ同士で名前、服薬内容等確認し、一人ひとり手渡しし、内服をするようにしている。服薬が困難な方はスタッフが内服を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々のなじみの人、なじみの場所は把握しており、面会時に談笑しやすい環境作りや外出時になじみの場所へお連れしたりと今までの関係がとぎれないよう支援している		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	買い物や散歩に出掛けたり、懐かしい場所にドライブに行ったりしている。買い物では自分の好きな物を選んでいただき可能な方は自分で会計するようにしている。	気候の良い時は、事業所周辺の散歩や買い物に出かけ、時にはドライブに出かけている。宮島や出雲大社に遠出したり、地域の銭湯に行くこともあり、利用者の介護度に応じた適切な外出支援が実施されている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	本人が持ちたい人は、少し所得されている。そうでない人は事務所で管理し、買い物希望の時は一緒に買い物に行き支払いも一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族の承諾を予めいただき、ご本人が希望される際は電話を掛けさせていただいている。手紙を職員がお預かりし、投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間（居間）などに季節の花や飾り、壁には季節にあった飾り付けをしている。</p>	<p>ロビーは、窓も広く四季折々の景観が眺望できる。自然採光に富んで陽だまりを求めてみなが集う温もり感のある環境整備である。食卓テーブルや椅子も食事時の姿勢を正しく保つため利用者の体格に合わせて高さ調整がされ、姿勢保持と安全確保など職員のきめ細かい気配りが観察された。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間にソファや机の配置などで工夫し、皆でテレビ観賞、談話、レクリエーションなど職員も一緒に楽しんでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅から馴染みのある家具や私物を持って来ていただくなどし、ご本人に居心地の良い環境で過ごしていただけるよう工夫している。</p>	<p>豪華な書棚に文学書・広辞苑を揃え、側に書机と椅子を配置した書斎風の居室。畳を敷きつめて和風に徹した居室など、各利用者の生活歴と知的生活が偲ばれる個性的な部屋づくりが利用者の好みで行われている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご本人の能力を把握し、安全で自立した生活が送れる環境づくりを行っている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームようき法成寺

作成日 平成25年2月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議での地域関係者の参加が少ない	地域関係者、近隣の方等の参加率を高める	地域行事の参加時、ご近所の方に声をかける。地域役員の方にご紹介もお願いし、参加していただけるよう努める。また運営推進会議の内容も工夫し参加しやすい会議にする	半年以内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。